

令和2年度 芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道 I	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	書道 I （教育出版）						
副教材等	高校硬筆の練習 （教育出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・小、中学校で学んだ書写を発展させ、芸術科書道との違いを学びます。</li> <li>・日本の文字の歴史を知り、漢字や仮名文字を大切にすることを育てます。</li> <li>・書の古典を中心に基本的な筆使いを習得し、創作などを通して幅広い書表現の世界を知り、書の楽しさを知りましょう。</li> <li>・楷書から入り、行書、篆書、篆刻、仮名、調和体、一字書などを体験し、3 学期には二科展を行い、書道や美術の作品を鑑賞します。</li> </ul>
--

2 学習の到達目標

幅広い書道の表現活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化について理解を深める。広く美的なものに感動する感性を養う。
--

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:書への 関心・意欲・態度	b:発想や 創意工夫の能力	c:書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書によさや美しさを生かし、感性や想像力を働かせて、自らの意図で創意工夫し、自分らしく表現しようとしている。	創造的な書表現をするために、基礎的な書の技能を身につけ、意図に応じて効果的な書表現の技能を身につけて表している。	書や、広く美的な作品・伝統的な文化に感動し、その美しさを味わい、日常生活の中で楽しむ気持ちを持っている。
評価方法	制作の様子 作品の練習量 ワークシート 硬筆ノート	制作の様子 作品のアイデア ワークシート 提出作品	制作の様子 提出作品	観察 ワークシート レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	書写と書道・用具の扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション 教科書等を見ながら、国語科書写と芸術科書道の違いを知る。</li> <li>・書道用具の扱いや教室の使い方を確認する。</li> <li>・高校で初めての二字作品を手本なしで書いてみる。</li> </ul>	○		○	○	a: 書写と書道の類似点・相違点や漢字の書体に興味を持ちこれからの学習に意欲を高めている。 b: 書写の基礎を踏まえ、表現の工夫をしている。 c: 姿勢や執筆法の基本を身につけ表現している。 d: 形や線の美しさを理解し味わっている。	学習活動、制作の様子   提出作品
	絵手紙風作品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室から出てみよう。</li> <li>・自分で和紙葉書に顔彩で絵を描き、筆ペンで筆文字の言葉を書いてみる。(2枚描いてみる)</li> </ul>		○		○	a: 自分の描きたい画材を探し指示に従い、自分らしく描いている。 b: 構図や描き方に工夫をし、それにあった語句を考えたか。 c: 思い描く作品にあった筆文字を工夫している。 d: 出来上がった作品の内、良いと思うものを選んでいる。	制作の様子   提出作品
	色々な楷書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五書体を知り日本の文字の変遷を知ろう。</li> <li>・楷書の基本点画と用筆法・運筆法を学ぶ。</li> <li>・楷書古典を臨書し、様々な書風を体験する。</li> </ul>	○		○		a: 書の変遷について、感心を持って話を聞いている。 b: 楷書の基本的な用筆法を理解し、表現を工夫している。 c: 古典の書風の違いを知り、それぞれの用筆法を理解して、表現を工夫し臨書している。 d: 代表的な古典楷書の良さ、美しさを味わっている。	練習の様子   提出作品
	篆書を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・篆刻の前に篆書を学び、漢字の成り立ちの面白さを知る。</li> <li>・自分の名前の五書体を調べる。</li> </ul>	○			○	a: 文字の成り立ちの面白さを味わっている。 b: 辞書を使い、適切な文字を選んでいる。 c: 篆書の基本的な形を理解し、逆筆で表現出来ている。 d: 篆書の筆使いや特色を理解してその面白さを感じとっている。	制作の様子   ワークシート 提出作品

夏休み課題	硬筆の練習・作品	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペン字ノートを進める。</li> <li>硬筆展に出品する作品を書いてみる。</li> </ul>	○		○	○	<p>a: 手書き文字に関心を持ち、手本を良く見て、美しく書く努力をし、出品に意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>B: 枠の中に体裁よく書けている。</p> <p>c: 止め、はね、払いなど鉛筆で正しく表現出来ている。</p> <p>d: 文字の形や大きさ、全体構成などを余白の美しさとともに鑑賞できている。</p>	<p>練習の様子</p> <p>ペン字ノート内容の途中点検</p> <p>提出作品</p>
2学期	石に篆刻しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>印稿のデザインを指示どおりに作る。</li> <li>大小2本。白文・朱文、二種類を刻す。(鉛筆デザイン・マジック転写)</li> <li>印箋に美しく押印する。</li> </ul>	○		○	○	<p>a: 印稿の条件を理解し、調べた文字のデザインを積極的に考えている。</p> <p>b: 朱・白・大・小のデザインを自ら工夫し表現しているか。</p> <p>c: 印刀を正しく使いこなし、力強く、シャープに刻している。</p> <p>d: 印箋に印泥で美しくくっきりと押せ、その美しさと完成の喜びを味わっている。</p>	<p>文字調べのプリント</p> <p>印稿のデザイン</p> <p>彫りの様子</p> <p>提出作品</p>
	色々な行書	<ul style="list-style-type: none"> <li>行書の筆使いを知る。</li> <li>行書古典を臨書する。</li> </ul>	○		○		<p>a: 行書の基本的な筆使いに興味を持ち、その表現に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>b: 用筆や運筆に工夫し、古典作品の特色を良くとらえている。</p> <p>c: 行書の技能を生かして表現している。</p> <p>d: 日常に使う書体としての行書の美を味わっている。</p>	<p>練習の様子</p> <p>提出作品</p>

	ムード満点一字書	<ul style="list-style-type: none"> <li>画仙紙三分の一に大字の一字書を書く。</li> <li>選んだ文字のイメージに合わせて表現を工夫する。</li> </ul>	○	○	○	○	<p>a: 楷書・行書から好きな文字を選びその表現方法に興味を持ち、意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>b: どのように表現したいか考え、自分の感性で構想している。</p> <p>c: 自分の作品の表現に必要な筆や墨色、筆使いを工夫し効果的に使う技能を身につけている。</p> <p>d: 完成した作品の良さや美しさ、工夫などを感じ取り、理解を深めている。</p>	<p>制作の様子</p> <p>提出作品</p>
	作品をパネルに	<ul style="list-style-type: none"> <li>出来上がった作品をパネルにする。</li> <li>刷毛やのりを上手に使うため実演を良く見てやり方を覚える。</li> </ul>	○		○		<p>a: 自分の作品を効果的に見せるための努力をしている。</p> <p>b: 作品表現の工夫をしている。</p> <p>c: 道具の使い方や技術を理解し、適切に使いこなして美しい仕上がりになっている。</p> <p>d: 美しく表具出来たかを自分で感じ取り理解を深めている。</p>	<p>制作の様子</p> <p>提出作品</p>
	書初めをしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>画仙紙四分の一に書初めを書く。</li> <li>書体を自分で決めて草稿を作る。</li> <li>書初め展に出品する。</li> </ul>	○		○	○	<p>a: 書初めに関心を持ち、積極的に表現技能を高めようとしている。</p> <p>b: 書初めの良さ、伝統を知り、表現しようとしている。</p> <p>c: 筆使いや書体を工夫している。</p> <p>d: 作品出品の緊張を味わい、互いに鑑賞することでさらに表現意欲を高めている。</p>	<p>練習の様子</p> <p>提出作品</p>
3学期	仮名を書こう	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮名の歴史を知る。</li> <li>仮名の線の表現の仕方の練習。</li> <li>平仮名・カタカナ・変体仮名の字源を覚える。</li> <li>連綿の練習。</li> <li>俳句の散らし書き。</li> </ul>	○	○	○	○	<p>a: 日本固有の文字である仮名について関心を持ち字源を理解している。</p> <p>b: 仮名の美しさを感じ取り美しい表現が出来るよう工夫している。</p> <p>c: 墨の濃淡、潤滑に気を配り流動的な線を書けている。</p> <p>d: 墨色の変化や文字の流れの美しさを理解しその良さを味わっている。</p>	<p>練習の様子</p> <p>小テスト</p> <p>提出作品</p> <p>ペン字ノート</p> <p>二科展感想文</p>

